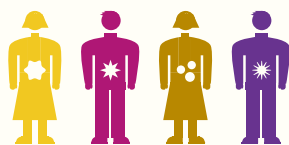


ゲノム診断のメリット

がん細胞の遺伝子情報から治療効果の
高い可能性のある抗がん剤
「分子標的治療薬」を探し出します。

患者さんのがん細胞内の遺伝子の
変化を一度に複数調べます



患者さん一人ひとりの遺伝子の変化に
応じた治療に役立つ薬の情報を探します。

✓ 分子標的治療薬とは？

特定の遺伝子変化をもつがん細胞のみを標的として効果を発揮するよう設計された抗がん剤です。正常細胞を傷めにくいため、副作用をより少なく抑えながら治療効果を高めることが期待されています。

よくある質問

費用はどれぐらいかかりますか？

検査には保険診療と自由診療(全額自己負担)で行われているものがあります。健康保険が適用される場合、検査費用は3割負担の方で168,000円をお支払いいただけます。「高額療養費制度」が利用できます。自由診療の金額についてはホームページをご覧ください。直接お問い合わせください。

保険診療での検査を受けるためにはどのような条件が必要ですか？

DNAを抽出するために、保存状態のよいがん組織が十分量必要になります。検査が可能かどうかについては患者さんの主治医や当院の病理医と確認が必要です。

検査結果が返ってくるまでどれくらい時間がかかりますか？

検査の種類によりですが1ヶ月から2ヶ月程度かかります。

検査によってどれくらい治療薬が提示できますか？

この検査によって新しい治療薬が提示できる可能性は10-20%と言われています。そのほとんどが保険適応外の治療となります。そのため臨床試験の紹介や、先進医療や患者申出療養などの制度の利用により治療を提案していきます。

私のがんは子どもに遺伝しますか？

生まれながらに持っている遺伝子の違いにより、がんになりやすい体質になることがあります。この検査を受ける数%の方にその可能性【遺伝性腫瘍】が判明することがあります。詳しくは、受診時に担当医より説明します。

【重要】本検査を受ける際の注意点

本検査を利用しても、がんの診断や治療に有用な情報が得られない可能性があります。また、本検査で、患者さんのがん細胞で起こっている遺伝子変異に対して効果が期待される薬剤が見つかったとしても、患者さんのがんに対してその薬剤が承認されていない場合^{*}、治療法として選択できないことがあります。

^{*}「保険診療で使えない薬剤」または「他のがんや病気では保険診療で使えるが、患者さんのがんでは使えない薬剤」を指します。

お問い合わせ窓口

東北大学病院 がん診療相談室

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1

www.cancercenter.hosp.tohoku.ac.jp/cm/

開設時間：8時30分～17時15分

TEL.022-717-7115



P-MEC

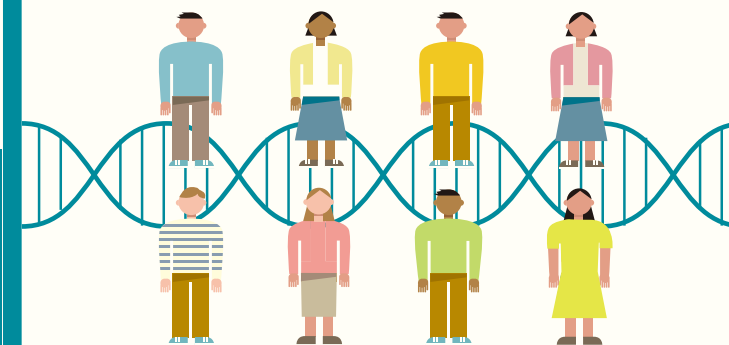
東北大学病院
がんゲノム医療外来

ゲノム診断による

新しい がん検査

がん遺伝子パネル検査

遺伝子情報を解析する「ゲノム診断」によって
効果の高い治療薬を提案していきます。



 東北大学病院

ゲノム診断とは？

がんは遺伝子の様々な変化が蓄積し、異常な増殖能力を獲得し発生します。

この検査は原因となる可能性がある遺伝子配列を検査することで個々の患者さんのがん細胞にどのような異常が生じているかを明らかにするものです。

近年、がんの原因となる遺伝子の異常を標的として、その機能を制御する薬剤「分子標的治療薬」が次々と開発されており、

この検査をすることにより効果が期待できる治療薬を提示できる可能性があります。

また、未承認の新しい薬剤や新しい治療法の臨床試験などに参加する際に役立つ情報となり、新たな治療法、治療戦略の開発につながる可能性があります。

保険診療によるがん遺伝子パネル検査の流れ

